

2022年度  
第10回 理事会議事録

2023年 3月 14日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

# 2022年度 第10回理事会議事録

1. 日 時 2023年 3月 14日 (火) 14:00～17:00
2. 場 所 鉄鋼会館 802号室
3. 構 成 員 14名
4. 出席構成員 14名 (別紙 出席者名簿参照)
5. 議事次第
  - (1) 開会の辞
  - (2) 定足数確認報告 (定款第36条)
  - (3) 会長挨拶
  - (4) 前回理事会議事録の確認
  - (5) 審議事項
    - 第1号議案 2023年度 予算(案)承認の件
    - 第2号議案 2023年度 鉄骨技術研究開発助成対象案件承認の件
    - 第3号議案 2023年度 永年勤続表彰対象者承認の件
  - (6) 報告事項
    - 1) 委員会等活動状況報告
      - ① 中期ビジョン検討委員会
      - ② 人材育成委員会
      - ③ 創立50周年記念事業準備委員会
      - ④ 技術委員会
      - ⑤ 運営委員会
      - ⑥ 鉄骨技術研究開発助成制度 選考委員会 (メンバー)
      - ⑦ 高規格鉄骨製作支援委員会 (メンバー)
    - 2) 鉄骨製品検査技術者講習会用試験体の譲渡について
    - 3) 共済事業関連 (生命共済関連、課題検討体制) について
    - 4) 働き方改革対応 (2024年問題) 検討WG設置について
    - 5) 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告
    - 6) その他 (参考資料: 鋼材価格等急騰時の対応)
  - (7) その他の定例報告事項
    - 1) 構成員登録状況
    - 2) 着工面積と推計鉄骨需要量
    - 3) 主要会議日程
    - 4) 支部報告
  - (8) 閉会の辞

## 6. 議事要旨

### (1) 開会の辞

進行役の小貫専務理事より開会する旨が告げられた。

### (2) 定足数確認報告

小貫専務理事より、本理事会は 14 名すべての理事が出席されており、定款第 36 条（理事会の定足数）に基づく成立要件となる定足数が満たされていること、また、監事も 2 名全員に出席いただいていることが報告された。

### (3) 会長挨拶

永井会長より「年度末のお忙しい中ご対応いただきありがとうございます。2023 年度に向けて様々な課題がありますが、本日も活発な議論を行っていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。」との挨拶があった。

### (4) 前回理事会議事録の確認

小貫専務理事が、第 9 回理事会の要点を読み上げ、確認、了承された。

### (5) 審議事項

#### 第 1 号議案：2023 年度 予算(案)承認の件

2023 年度 予算(案)について平井総務部長より、議案書（P3-6）により以下の内容が説明された。

- ・2022 年度実績見込みについては、3400 万円の収支プラス、2022 年度当初予算比プラス 5000 万と想定。コロナ影響による事業の規模縮小、各種講習会補助・研修会の取止め・延期等によるものと整理している。
- ・2023 年度予算の大きな事業として、50 周年記念事業（2,170 万円）と次世代経営研修（2,160 万円）等を織り込んで計画を策定。  
結果、2023 年度の収支は、2,180 万円のマイナスとなっている。
- ・通常の事業収支としては、収支均衡を前提としつつ、50 周年記念事業費用相当分の 2,180 万円のマイナスとする予算となっている。

尚、来年度以降に向けては、各種サポート制度・助成制度等の精査、収入増の検討等、今後の厳しい環境にそなえるべく収支の改善に向けた検討を行うこととする。

本議案に対する質問、意見等はなく、原案どおり承認された。

#### 第 2 号議案：2023 年度 鉄骨技術研究開発助成対象案件承認の件

2023 年度 鉄骨技術研究開発助成対象案件について新村技術部長より、議案書（P7-16）により説明された。助成金額は以下の通り。

- ・会員応募型の助成金額については 195 万円。
- ・全構協実施型の助成金額は、2023 年度：585 万円、2024 年度：560 万円。

本議案に対する質問、意見等はなく、原案どおり承認された。  
承認後、会員応募型の申請者は東京鉄構工業協同組合であることが確認された。

### 第3号議案：2023年度 永年勤続表彰対象者承認の件

2023年度 永年勤続表彰対象者承認の件について平井総務部長より、議案書（P17-20）により説明された。

2023年度の表彰対象者は、各都道府県役員36名、事務局8名の合計44名。  
本議案に対する質問、意見等はなく、原案どおり承認された。

## (6) 報告事項

### 1) 委員会等活動状況報告

#### ① 中期ビジョン検討委員会

2月22日に開催された、「中期ビジョン検討委員会」について、議案書（p22）にそって大島副会長より説明され、確認された。

#### ② 人材育成委員会

2月22日に開催された「人材育成委員会」及び、「次世代経営研修WG」、「教育体系検討WG」の内容について、議案書（p23-27）、別紙1～3にそって総務部大原担当部長より説明され、確認された。

- ・次世代経営研修は、「人と組織のマネジメント」、「トップマネジメント」の2部構成とし、実施に際して、「人と組織のマネジメント」は全構協専任講師「トップマネジメント」はコンサルと連携して実施する方向で検討中。
  - ・2023年度下期から支部単位で実施することとし、各研修はグループ討議を前提に30名程度の規模、会場費等の開催関連の費用は全構協負担とする。
  - ・研修の詳細は5月の理事会で報告予定だが、下期からの実施に向けて、各支部と、開催日程、会場手配等について事前の調整を開始したい。
  - ・「教育体系検討WG」では、実施すべき教育の指針となる様な情報として、別紙1～3の資料を作成した。
  - ・今後の活用促進に向けて、HPへの掲載を検討中である。色々なご意見をいただきながら、より使いやすい形にする方向で検討を実施し、8月のHPアップを目標に進めることとした。
  - ・教育体系検討WGから、「人づくり教育研修」の提案が出ており、本件の検討を進めたい。検討組織のリーダーは寺田理事にお願いし、メンバーについては、各支部長から推薦をいただき、3名程度を選びたい。
- 尚、本人材育成関連の内容は、4月の事務局長会議でも報告することとした。

### ③ 創立 50 周年記念事業準備委員会

「創立 50 周年記念事業準備委員会」について、議案書（p28）にそって総務部滝本課長より、以下の内容が説明され、確認された。

- ・ 足元のコロナの感染状況を踏まえ、祝賀会は立食を前提とし、招待人数を増やす方向で検討を行う。
- ・ 感謝状贈呈の候補者推薦について正会員への展開を実施する。
- ・ 50 年誌寄稿の依頼については、過去の記念誌作成時の依頼先を参考に寄稿のお願いを実施する。
- ・ 記念事業の P R 映像は、4 - 5 月に撮影・編集、7 月の式典で披露する予定。

### ④ 技術委員会

「技術委員会」について、議案書（p31）にそって佐藤理事より説明され、「研究開発助成制度全構協実施型」のテーマ及び、CAD ソフト調査の件が確認された。

また、「資格（者）の有効期限を確認する一覧表」について、配布資料（p32-34）にそって、新村技術部長より説明され、確認された。

### ⑤ 運営委員会

「運営委員会」については、議案書（p35-36）にそって、妹尾理事より以下の内容が説明され、確認された。

- ・ 業績調査について、各理事に対して、回答率アップに関する協力を要請する。
- ・ 支部の位置付けの明確化について検討を開始した。また、検討に向けての状況調査については、支部にも協力を要請する。

### ⑥ 鉄骨技術研究開発助成制度 選考委員会（メンバー）

鉄骨技術研究開発助成制度 選考委員会（メンバー）について、議案書（p37）にそって新村技術部長から説明され、確認された。

### ⑦ 高規格鉄骨製作支援委員会（メンバー）

高規格鉄骨製作支援委員会（メンバー）について、議案書（p38）にそって新村技術部長から説明され、確認された。

## 2) 鉄骨製品検査技術者講習会用試験体の譲渡について

鉄骨製品検査技術者講習会用試験体の譲渡について、議案書（p39）にそって新村技術部長から、以下の内容が説明され、確認された。

- ・ 譲渡先：北海道、山形、福島、石川、香川、長崎、熊本 各 1 体  
京都と奈良は共同で 1 体 ※茨城は全構協保管の 1 体を随時貸出
- ・ 譲渡時期：2023 年 3 月～4 月頃に、各譲渡先（組合）と日程調整の上、全構協負担で輸送予定。

### 3) 共済事業関連（生命共済関連、課題検討体制）について

共済事業関連（生命共済関連、課題検討体制）について、議案書（p40-42）にそって総務部中村担当部長より説明があり、確認された。

内容は以下の通り。

- ・生命共済の実情調査を実施。生命共済に加入しない理由として、「他の保険に加入・付き合い、自社の方針等」が7～8割であることが分かった。商品性（魅力）の問題で加入しない人は、少数であることが確認された。
- ・生命共済の2022年度の加入率は、僅かではあるが還付率の境界である35%を割り込んだレベルになる見込み。様々な取組みも実施した結果なので、加入率の35%確保は難しいという前提で、今後の対応は検討することとした。
- ・今後は、生命共済だけではなく、共済制度全般の効率化、構成員企業の利益最大化を目標として検討を実施する。
- ・推進担当者連絡会議で11月頃を目途に検討を行い、理事会に提言する方向で活動を実施する。

### 4) 働き方改革対応（2024年問題）検討WG設置について

働き方改革対応（2024年問題）検討WG設置について、議案書（p43）にそって小貫専務理事より以下の内容が説明され、確認された。

- ・2024年4月から、「働き方改革関連法」が建設業にも提供されることを踏まえ、関係先との認識の共有化、対外発信等を行う必要がある。
  - ・検討については、運営委員会に諮問することとしたい。
  - ・検討に向けての状況調査については、支部にも協力をお願いする。
- また、永井会長から下記補足説明があった。

建設業の働き方改革対応（2024年問題）については、十分に認識されていないところがあり、今回あらためて課題を整理し、対外的に発信したい。

建設業への関連法案の適用が来年の4月からということもあり、出来るだけ早く、可能であればこのGW前後を目途に、対外発信まで繋げていただきたい。

### 5) 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況

代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について、議案書（p44）にそって小貫専務理事より説明され、確認された。

### 6) その他（参考資料：鋼材価格等急騰時の対応）

鋼材価格等急騰時の対応について、議案書（p45）にそって、平井総務部長より説明され、確認された。

## (7) その他の定例報告事項

### 1) 構成員登録状況

2023年382日時点の構成員数は、前回報告時(2月14日)より8社減少し、2,181社であること等が、議案書(p47-50)により報告された。

## 2) 着工面積と推計鉄骨需要量

2022年度4月から2023年1月までの10ヶ月間の鉄骨需要量合計は、368.9万tで、前年同期間の93.2%となっていること等が、議案書(p51)により報告された。

## 3) 主要会議日程

主要会議日程が、議案書(p52)により確認された。

## 4) 支部報告

### 〔九州〕

- ・工事量は著変なし、コスト上昇、凶面の決まりの悪さ等、問題継続。九州全体では大型中心に物件もあり稼働率は高く、忙しい。沖縄は相変わらず良くない。

### 〔四国〕

- ・手持ち工事量は大きな変化はなく、少ない状態が続いている。
- ・凶面決定の遅れの影響が出ている。総じて弱含みの状況で、価格も不透明。

### 〔中国〕

- ・Hグレードはバックオーダーを抱え概ね順調。一方、地元の小規模ファブ特にRは物件が少なく厳しい状況が続いており、ファブ専業では厳しい。
- ・CLTの拠点が岡山に設置されたという状況もあり、今後に向けて心配。S造を再確認する必要がある。

### 〔近畿〕

- ・関東支部と支部間の交流会を実施。人材確保、凶面決定等の問題を議論した。
- ・受注等著変はないが、仕事は確保している状況。各費目の値上がり内容を、別記載できちんと認識出来る様にしてはどうかとの意見が出ている。

### 〔中部〕

- ・手持ち工事量、やや減少、較差が拡大している。稼働率も低下。コストアップ分の価格転嫁がうまく行っていない。

### 〔北陸〕

- ・仕事量的には大きな変化はないが、各社毎ではややひらきが出てきている。
- ・諸物価高騰等が厳しい。どれ位の影響があるのか、コストアップ幅について、認識の共有化が必要。

#### 〔関東〕

- ・工事量、稼働率、見積り状況に大きな変化なし。大型工事は増加、中小案件は減少、副資材、公共料金等の値上げ等が厳しい。
- ・凶面遅れ等の影響により製造の山谷が大きくなっている。コスト上昇等の問題について、統一的な見解等を出すことも検討する必要がある。

#### 〔東北〕

- ・工事量横ばい、稼働率は低位。コストアップは厳しい。
- ・働き方の2024年問題については、地方の中小ゼネコンは認識やすい。

#### 〔北海道〕

- ・手持ち工事量、稼働率ともに大きな変化ないが、やや弱含み。
- ・2030年の新幹線、オリンピックについては厳しい状況だが、ラピダス新工場の話はすごく盛り上がっている。

#### (8) 閉会の辞

以上をもって、審議事項、報告事項、その他の定例報告事項等、予定された全ての事項が終了したので、議長は閉会を宣し散会した。

以 上

(別 紙)

## 出席者名簿

会 長	永 井	毅
副 会 長	大 島	嗣 雄
〃	大 竹	良 明
専務理事	小 貫	武
理 事	佐 藤	正 記
〃	三 浦	隆 宏
〃	秋 山	順 一
〃	寺 田	健 信
〃	柏 原	正 明
〃	出 雲	津 芳
〃	妹 尾	一 人
〃	登 尾	昌 弘
〃	岩 永	洋 尚
理 事(相談役)	米 森	昭 夫
監 事	村 上	眞 樹
〃	五 月 女	久 和

理事総数	14名	うち出席者	14名
監事総数	2名	うち出席者	2名